

© 新機エージェンシー・サンライズ

Illustrated by BEE-CRAFT

# MS-09 DOM / MS-09R RICK-DOM

## PRINCIPAL OF ZEON FORCE MASS PRODUCTION



# HG

UNIVERSALCENTURY



BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

この商品には、ドム (パーツ選択によりリック・ドムにも組立可能) が1セット入っています。

パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。



# MS-09 DOM / MS-09R RICK-DOM

## PRINCIPALITY OF ZEON FORCE MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通エージェンシー・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-09 (09R)  
TOTAL HEIGHT : 18.6m  
WEIGHT : 62.6t (43.8t)  
TOTAL WEIGHT : 79.9t (78.6t)  
GENERATOR OUTPUT : 1269kw (1199kw)  
MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY  
ARMAMENTS : GIANT BAZ  
HEAT SABER  
BEAM BAZOOKA



1/144 SCALE

**HG**  
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

Scanned by Dalong.net 0141037

**BAN  
DAI**



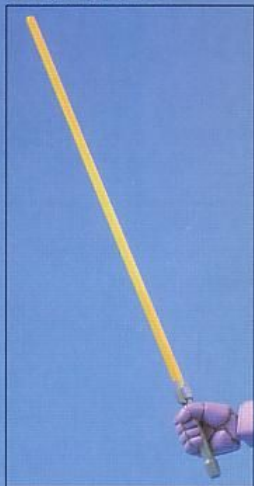
## MS-09 DOM

「ドム」および「リック・ドム」は、ツィマツ社が開発した量産MSである。地球侵攻作戦展開当初、ジオン公国軍は重力下でも06型のザクの転用で充分だと考えていた。しかし、地球の環境やザクそのものの移動能力の低さなどの障害は、戦線が拡大するにつれて深刻な問題となっていたのである。そこで、かねてより提案されていた陸戦用の機体が開発されることとなった。やがてグフなどの輩出を経てC5型を基にした改造機のプランからYMS-09プロトタイプドムの開発が始まった。当初の計画では、湿地帯や沼沢地への投入も可能な純粋なホバークラフトユニットを装備した局地戦用MSとなる予定だったが、熱核推進システムの開発に実績のあるツィマツ社が高効率の熱核ジェットエンジンの開発に成功し、主推進装置は熱核ジェット/ロケットの複合システムが採用されることとなった。試作機はジオン本国で製造され、実働試験はキャリフォルニア・ベースにおいて行われた。ツィマツ社によって導入された技術やコンセプトにはユニークなものも多く、ボディユニットにブロック構造を導入するなど、それまでに培われた技術が存分に盛り込まれていた。加えて整備性の

高さなども、後の空間戦闘用MSとしての採用を後押ししたといわれている。その後、外部の形状に空力的な改修を受けた本機はMS-09の型式ナンバーと「ドム」の名が与えられ、ほぼプロトタイプ通りの形で量産されることとなった。ザクには及ばないものの、YMS-09プロトタイプドムを起点とするドム系の機体は相当規模のバリエーションを産み出している。まず、量産機のMS-09 ドム、MS-09R リック・ドム、幻のビーム兵器対応のRS型。プロトタイプドムを改修する形で熱帯地方対応の装備が追加され、十数機程度が生産されたYMS-09D ドム・トロピカルテストタイプ、ランドセル部分に大出力バーニアを追加装備したMS-09G ドワッジ、MS-09H ドワッジ改が作られた。また形状を改修した上で空間戦闘用改修を施したMS-09F ドム・フュンフ。これに徹底した防塵処理とエアロフォルムを取り入れたMS-09F/TROP ドム・トローベン。さらに、第2期生産計画に基づく新規設計のMS-09R-2 リック・ドムⅡ、などである。ことにリック・ドムⅡは、重力下仕様機とのほぼ完全なコンバーチブル機だとされており、外観上の差異もほとんど存在しない。実際、ドムの系列機の部隊配備は大戦後期に入ってからであるにも関わらず、これほどの適応と拡散を遂げたことは特筆に値するだろう。

### ヒート・サーベル

白兵戦用の武器。サーベル部分が白熱化し、敵の機体を溶断する。発熱デバイスは高効率でエネルギーを熱に変えるが、消耗が激しく基本的に使い捨て。



### 背部バーニア

主に推進や機動時に使用される。リック・ドムのものは大型化され、フェアリングもそれに合わせて形状が変わっている。

### モノアイ

ドムのモノアイは「視野」の拡大のため、3次元的な走査が可能なようレールが配置されている。

### 拡散ビーム砲

本来はビーム兵器を稼働させるためのエネルギーチャネルとして装備されていたが、十分な出力を得ることができなかったため、眩惑効果や威嚇用の短距離ビーム砲として使用されている。

### コクピット

後の機体のスタンダードとなる「ダイレクトイン」と呼ばれる搭乗方式が採用されている。これにより前面装甲の泣き所であった搭乗ハッチが飛躍的に強化されたものの、砂漠や湿地帯の部隊からはコンソールが汚損しやすいなどの苦情もあった。

Scanned by Dalong.net

### SPEC

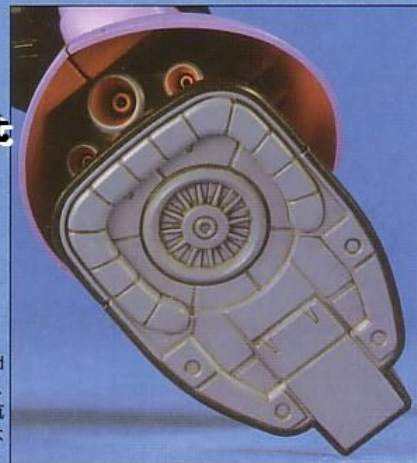
型式番号：MS-09(09R)  
全高：18.6m  
本体重量：62.6t(43.8t)  
全備重量：79.9t(78.6t)  
ジェネレーター出力：1269kw(1199kw)  
装甲材質：超硬スチール合金  
武装：ジャイアント・バズ  
ヒート・サーベル  
ビーム・バズーカ  
※( )内はリック・ドム

### ジャイアント・バズ

一年戦争時に使用されたMSの携帯用火器としては最大級360mm口径の実体弾砲。ドムおよびリック・ドムの代名詞ともなった武装だが、大戦末期にはドム以外の機体にも多用された。

### ホバークラフトユニット

熱核ジェットによる足下のGSF (Ground Surface Effect=地表面効果) で機体を浮かせ、スカートやスノ部分のロケットで推進する。巡航速度は90km/h、最大戦闘時のトップスピードは240km/hに達する。





## MS-09 ドム

「MS-09 ドム」「MS-09R リック・ドム」は、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」劇場版「機動戦士ガンダムⅡ 哀戦士」「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙」に登場する量産MSである。「ドム」は、陸戦用の重MSで、一年戦争勃発間もない「ルウム戦役」において地球連邦軍のレビル將軍を捕虜とした「黒い三連星」ことガイア、マッシュ、オルテガらの特務部隊によって初めて実戦に投入された。U.C.0079年10月、グラナダ及びコロニーにおける陸戦トレーニングを終えた「黒い三連星」は、オデッサ作戦に備え地球に降下する。その際に与えられた機体がこの「ドム」であった。



CG Work by YUJI KONNO (Jam)



## MS-09R リック・ドム

「リック・ドム」は、陸戦用MSである「ドム」を宇宙用に改造した機体で、開発が難航していた高機動型ザクを下して空間用主力MSとして量産された。軍首脳は次期主力機と目される「MS-14 ゲルググ」までの「つなぎ」と考えていたとされているが、リック・ドムは改装機とは思えない適応と拡散を遂げた。一年戦争末期の公国軍宇宙戦力を支えていたのは、量ともにリック・ドムであったと言っても過言ではない。

## MS-09R RICK-DOM

## リック・ドム REAR VIEW

## リアビュー



ビーム・バズーカ



## MS-09R リック・ドム

ドムは、ホバー走行の実現と耐弾性向上のため「重MS」に分類されていたが、宇宙用への改装にあたっては、推進ユニットの換装のほか、背部バーニアやスカートにの拡大など、わずかな設計変更が施されただけで、基本フレームにはほとんど手を加えることなく軍の要求値を達成した。ドムのベースデザインは、宇宙空間での運用においてその真価を発揮したのである。加えて、ドムを生産していたツイマツ社は、ジオン本国やグラナダの工廠を始めとする宇宙に多く生産拠点を保有しており、リック・ドムは、その生産ラインをほぼそのまま使えるというメリットもあった。「ビーム・バズーカ」は、リック・ドムが携行する武装の中で幻の兵器と呼ばれるもののひとつで、いくつかの部隊において試験的に運用されていたという記録も残っている。生産性が低くエネルギーチャージに時間がかかるなどの問題はあったものの、ジオン公国軍のムサイ級巡洋艦の主力に匹敵する威力を持っており、地球連邦軍のMSが装備するビーム兵器よりも強力であったようだ。



# FRONT VIEW

# フロントビュー REAR VIEW

# リアビュー



# ACTION

# アクションポーズ



## COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

●腕部、脚部等：

パープル(70%)  
+ホワイト(30%)

●関節等：

ホワイト(50%)  
+ブラック(30%)  
+コバルトブルー(20%)  
+レッド(少量)

●肩部、腰部等：

ブラック(90%)  
+ミッドナイトブルー(10%)

●ビーム・バズーカ：

ニュートラルグレー(90%)  
+ブラック(10%)

●武器等：

ミディアムブルー(60%)  
+ニュートラルグレー(30%)  
+レッド(10%)

●モノアイガード等：

モンザレッド(100%)

●拡散ビーム砲等：

ホワイト(80%)  
+イエロー(20%)

●モノアイ等：

ピンク(100%)



**注意**

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

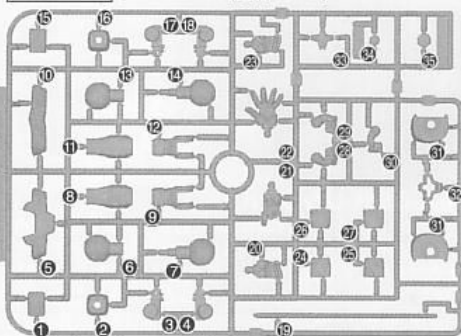
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

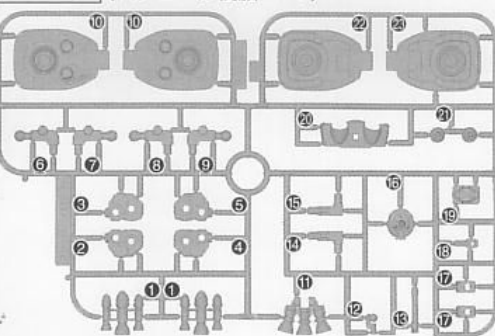
接着をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ピスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動きます

**パーツリスト** (X印は使用しないパーツです。)

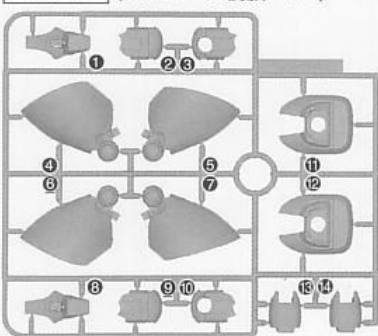
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



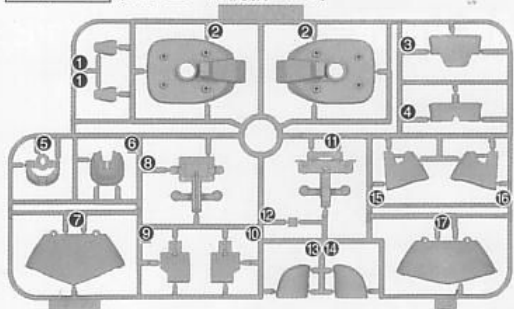
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



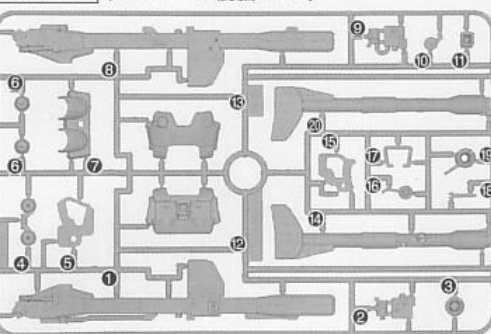
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



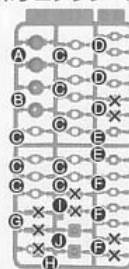
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-116〉  
(ポリエチレン: PE)



●シール……………1

《お買い上げのお客様へ》

部品をこわしたり、なくした時は「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂いた個人情報は、商品・部品の発送業務以外には使用いたしません。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター  
〒424-8735 静岡県静岡市清水区西久保305 TEL0543-65-5315

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	シール	その他の部品
部品代	80円	40円	各40円
郵送料	80円	80円	120円

・電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時  
・電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード 0141037-1700

1/144SCALE HG UC  
MS-09 ドム/MS-09R リック・ドム

必要な部品の記号・番号・数量をかく

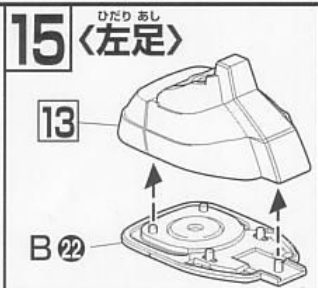
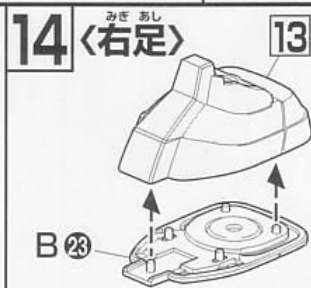
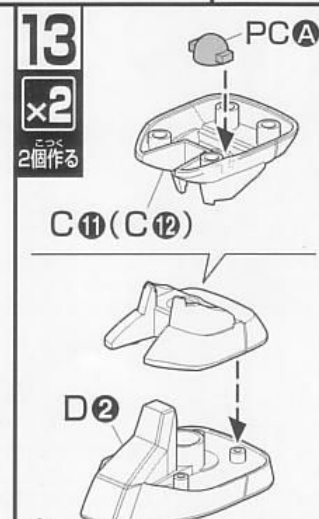
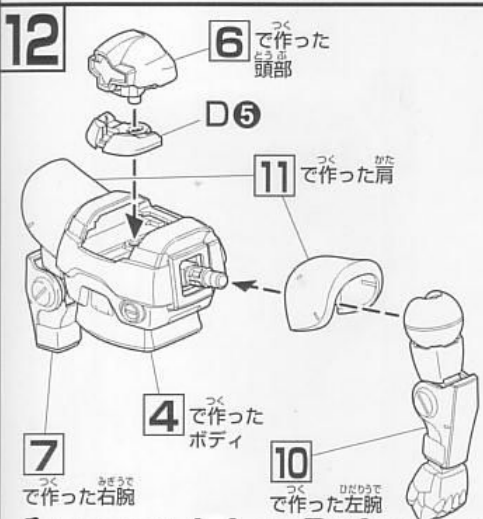
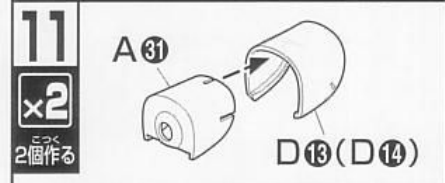
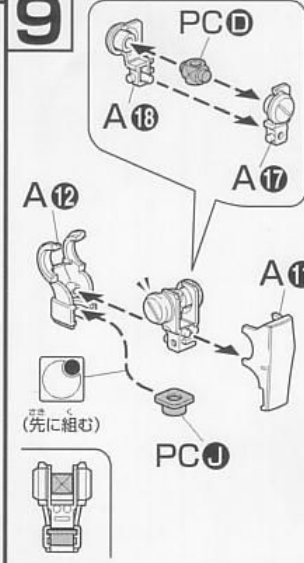
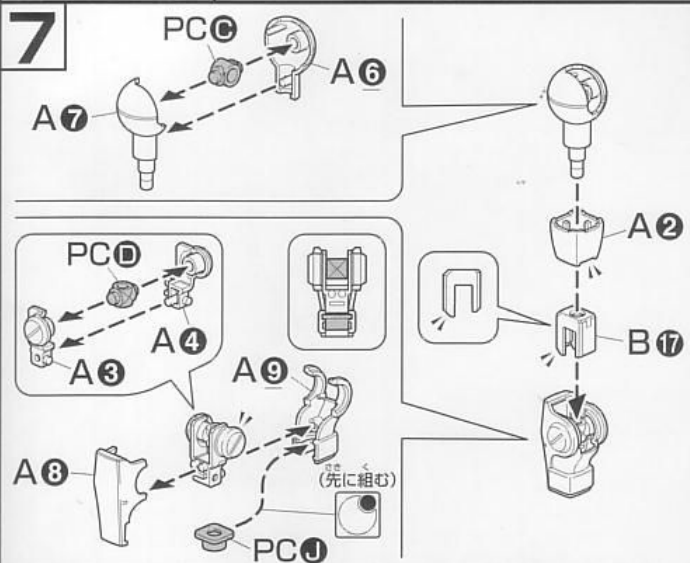
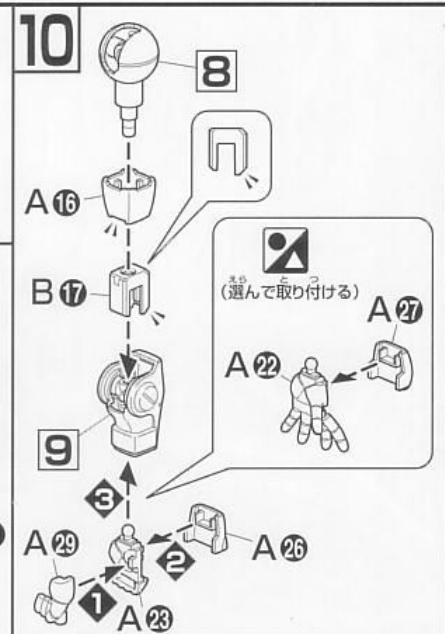
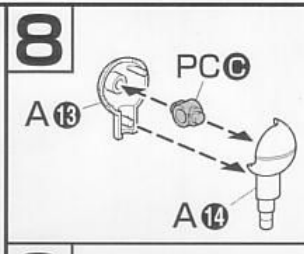
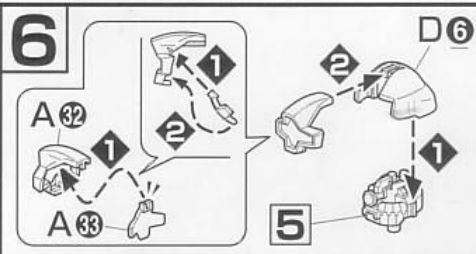
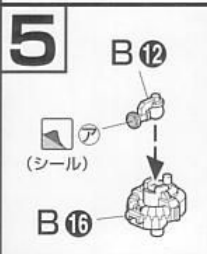
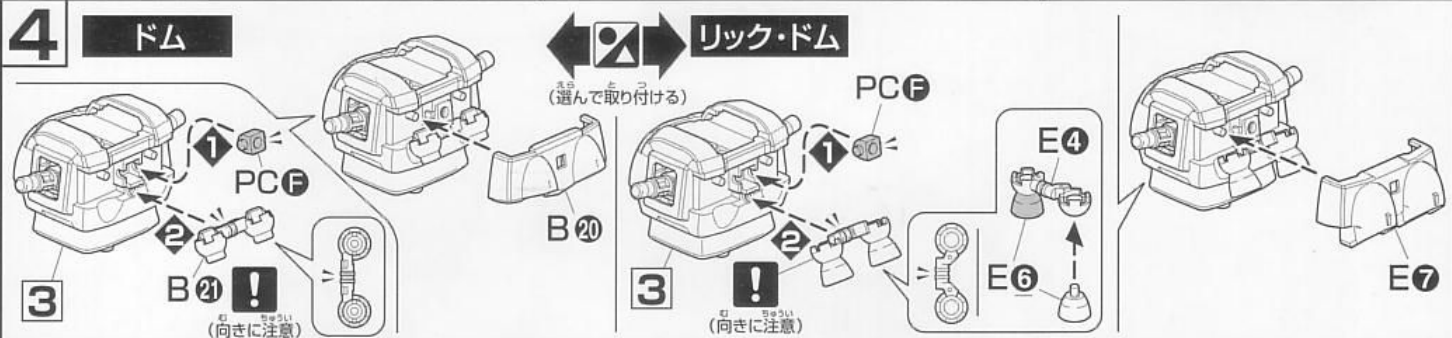
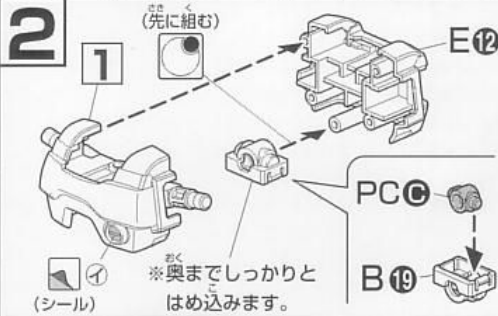
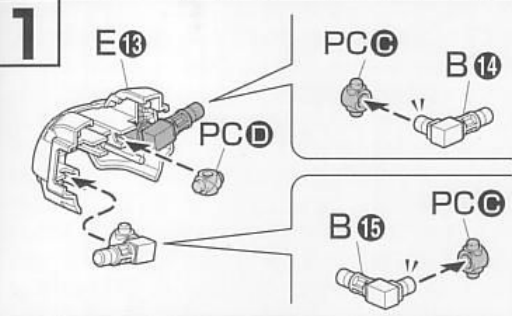
●注文された理由(○で囲む)(こわしたなくした)

・日中で連絡可能な電話番号 年齢  
( ) ( ) (才)

'06.01

※コピー使用可

※ドムとリック・ドムのどちらかを選択して組み立てる仕様です。



**16**

B1 PC1 B2 PC2 C9 C10

**17**

16 C14 (向きに注意)

**18**

B1 B6 B9 PC5

**19**

C6 17 C7

**18**

PC1 18

**20**

19 C8 D1 (向きに注意)

**21**

20 14 <右足> みぞ あし

**22**

PC1 B4 B5 PC2 C3 C2

**23**

22 C13 (向きに注意)

**24**

B1 B6 B7 PC5

**25**

23 C4 C5 24 PC1

**26**

25 15 <左足> ひだり あし D1 (向きに注意)

**27**

PC1 PC2 D11 PC3 PC4

※奥までしっかりと はめ込みます。

**28**

27 D12 (向きに注意)

**29**

B11 PC10

**30**

28 29 (向きに注意) ※ポリキャップを 押さえながら はめ込んでください。

**31**

A1 D9

**32**

A15 D10

**33**

A10 D7 D17 リック・ドム (選んで取り付ける)

**34**

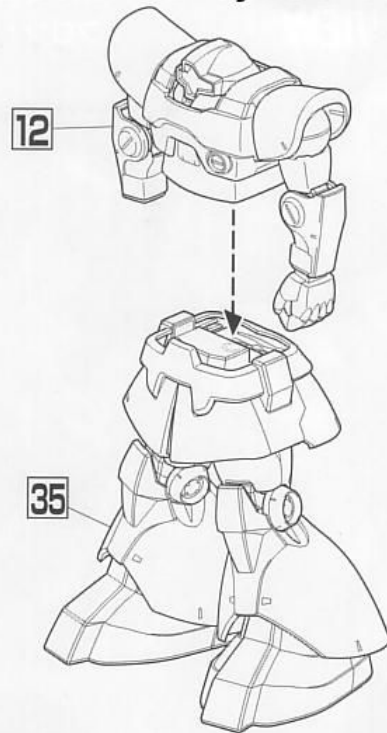
A6 D15 D16



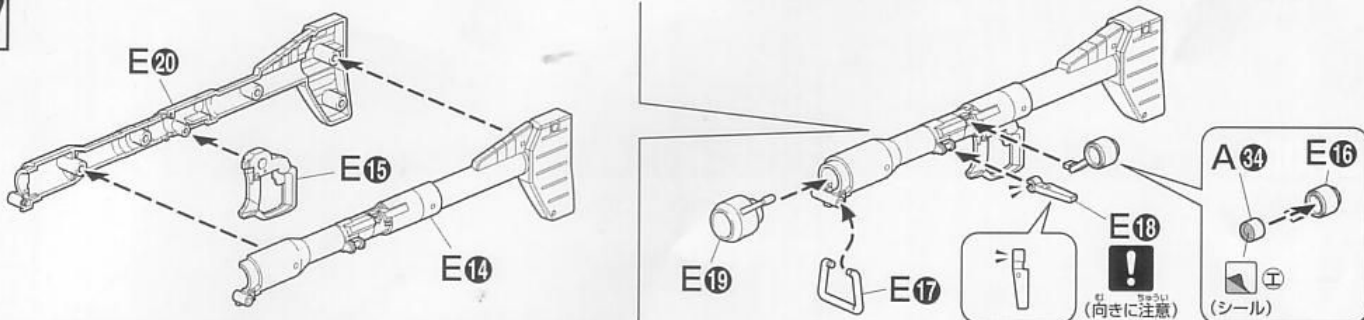
35



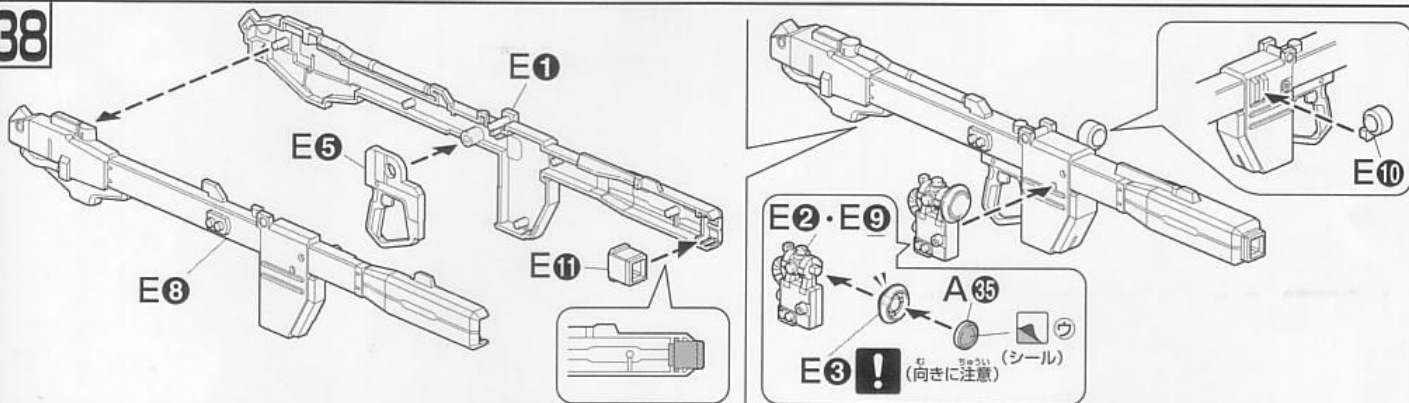
36



37



38



39

